



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社
 コード番号 9790 URL <https://www.fukuicompu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 橋本 彰 (TEL) 0776-53-9200
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,891	2.6	2,876	△4.5	2,912	△3.9	1,960	△2.9
2022年3月期第2四半期	6,716	8.7	3,012	19.7	3,032	19.1	2,017	18.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,040百万円(△1.8%) 2022年3月期第2四半期 2,078百万円(11.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	94.81	ー
2022年3月期第2四半期	97.59	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,072	19,763	78.8
2022年3月期	24,593	18,963	77.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,763百万円 2022年3月期 18,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
2023年3月期	ー	0.00			
2023年3月期(予想)			ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,620	△5.0	5,490	△13.1	5,540	△12.9	3,640	△13.8	176.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想の修正については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	20,700,000株	2022年3月期	20,700,000株
2023年3月期2Q	24,790株	2022年3月期	24,719株
2023年3月期2Q	20,675,259株	2022年3月期2Q	20,675,301株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）における当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高6,891百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益2,876百万円（前年同期比4.5%減）、経常利益2,912百万円（前年同期比3.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,960百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①建築システム事業

建築システム事業の売上高は2,984百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は1,035百万円（前年同期比11.8%減）で減収減益となりました。当第2四半期連結累計期間は、同セグメントにおきまして主に保守サービス及び3Dカタログサイトの継続取引社数が堅調に推移するなど、ストックビジネスは伸長した一方で、主要事業である住宅事業において、IT導入補助金のデジタル化基盤導入類型枠追加により採択率が低下し、製品販売が伸び悩み前年同期比減収減益にて推移いたしました。

②測量土木システム事業

測量土木システム事業の売上高は3,510百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は1,701百万円（前年同期比2.5%減）となりました。測量土木システム事業におきましても、IT導入補助金のデジタル化基盤導入類型枠の追加による採択率の低下の影響を受けましたが、i-Constructionの普及により点群処理ソフトを主な製品とする建設インフラ事業の売上が好調に推移し、売上増加に寄与しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限を緩和し、営業活動を再開したことで旅費及び展示会費等が増加し、増収減益となりました。

③ITソリューション事業

ITソリューション事業の売上高は395百万円（前年同期比187.7%増）、営業利益は226百万円（前年同期比971.6%増）と前年同期比で増収増益となりました。当第2四半期連結累計期間は、主に2022年7月に行われた参議院選挙の出口調査システムにかかわる売上を計上したことにより前年同期比で大幅な増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は25,072百万円となり、前連結会計年度末より479百万円増加しました。主な要因は、売上債権及び繰延税金資産の減少、投資有価証券及び未収入金の増加によるものであります。

負債合計は5,308百万円となり、前連結会計年度末より320百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金の減少、未払金の増加によるものであります。

純資産は19,763百万円となり、前連結会計年度末より800百万円増加しました。これに伴い、自己資本比率は78.8%となっております。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より16百万円減少し17,010百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,295百万円（前年同四半期は1,408百万円の獲得）となっております。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益2,912百万円、減価償却費118百万円、売上債権の減少215百万円、法人税等の支払額1,597百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、72百万円（前年同四半期は90百万円の使用）となっております。主な要因としましては有形固定資産の取得39百万円、無形固定資産の取得20百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,239百万円（前年同四半期は1,033百万円の使用）となっております。主な要因としましては、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,027	17,010
受取手形	447	377
売掛金	1,529	1,383
商品及び製品	46	45
仕掛品	4	6
原材料及び貯蔵品	5	4
その他	730	994
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	19,787	19,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,127	1,101
土地	1,153	1,153
その他（純額）	111	82
有形固定資産合計	2,392	2,337
無形固定資産	228	217
投資その他の資産		
投資有価証券	1,350	1,968
繰延税金資産	508	390
その他	330	341
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	2,184	2,695
固定資産合計	4,805	5,250
資産合計	24,593	25,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61	56
未払法人税等	1,366	864
前受金	2,273	2,455
賞与引当金	759	562
役員賞与引当金	46	32
その他	981	1,178
流動負債合計	5,489	5,149
固定負債		
繰延税金負債	140	159
固定負債合計	140	159
負債合計	5,629	5,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	1,500	1,500
利益剰余金	15,406	16,126
自己株式	△59	△59
株主資本合計	18,478	19,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	484	565
その他の包括利益累計額合計	484	565
純資産合計	18,963	19,763
負債純資産合計	24,593	25,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	6,716	6,891
売上原価	1,392	1,452
売上総利益	5,323	5,438
販売費及び一般管理費	2,311	2,562
営業利益	3,012	2,876
営業外収益		
受取配当金	17	29
受取手数料	3	4
その他	3	3
営業外収益合計	25	36
営業外費用		
投資有価証券評価損	5	—
営業外費用合計	5	—
経常利益	3,032	2,912
税金等調整前四半期純利益	3,032	2,912
法人税、住民税及び事業税	1,035	852
法人税等調整額	△20	99
法人税等合計	1,014	952
四半期純利益	2,017	1,960
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,017	1,960

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,017	1,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	80
その他の包括利益合計	60	80
四半期包括利益	2,078	2,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,078	2,040
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,032	2,912
減価償却費	92	118
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△145	△197
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△13
投資有価証券評価損益 (△は益)	5	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△313	215
棚卸資産の増減額 (△は増加)	14	△0
前受金の増減額 (△は減少)	△25	181
その他	79	△353
小計	2,713	2,863
利息及び配当金の受取額	17	29
法人税等の支払額	△1,322	△1,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,408	1,295
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17	△39
無形固定資産の取得による支出	△70	△20
その他	△1	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,032	△1,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,033	△1,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	285	△16
現金及び現金同等物の期首残高	13,598	17,027
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,883	17,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I Tソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,101	3,477	137	6,716	—	6,716
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,101	3,477	137	6,716	—	6,716
セグメント利益	1,174	1,744	21	2,940	71	3,012

(注) 1. セグメント利益の調整額71百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I Tソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,984	3,510	395	6,891	—	6,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,984	3,510	395	6,891	—	6,891
セグメント利益	1,035	1,701	226	2,963	△87	2,876

(注) 1. セグメント利益の調整額△87百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。